

地域創造科目

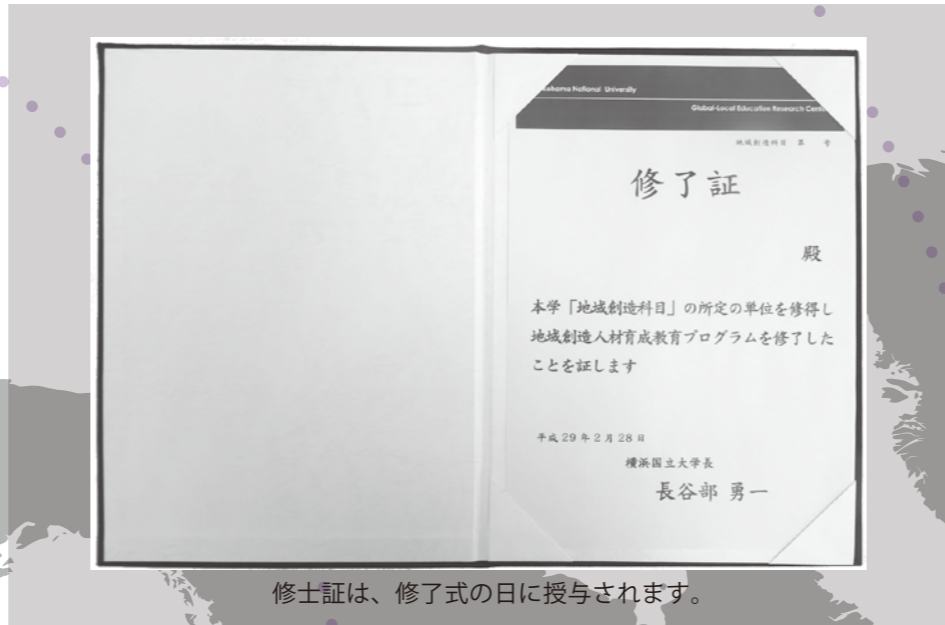
Community Creative Subjects

シラバス 2019

YOKOHAMA

オリエンテーション
4/16 (火) 12:10-12:50
建築学棟 (N5-3) 1F 大会議室

副専攻プログラムの修了証



修士証は、修了式の日授与されます。

ブックレット

HP (<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>)からダウンロードできます。

地域創造論 II

～ ローカルからの発想が日本を変える、世界を変える。～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2015年から2017年度のテーマは、「ローカルからの発想が日本を変える、世界を変える。」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。



日本とスウェーデンの比較にみる福祉と地方財政 伊集守直 / まちづくりと自然環境 小池文人 / 産業構造の変化と外国人労働環境をめぐって 山崎圭一 / 里海：海洋国日本の可能性～里海資源論の可能性 中村由行 / 政策形成へのアプローチ 小池治 / 地域を資源化する建築的デザインとコンセプト 宮城島崇人 / 地方と都市-ローカルシステム 新ライフスタイル 赤木徳頭 / 3Dプリンターが拓く次世代ものづくり 丸尾昭二 / 経済的視点で地域を捉える 氏川恵次 / ファブ・クリエイティブ都市論 野原卓 / 里山の保全と活用～神奈川の取組を中心に～ 小池治 / 大学と地域連携 高見沢実 / 多文化共生—大学と地域の幸福な付き合い方の条件 佐藤峰 / 地域と地域との関係-現在・今後 梅野匡俊 / 建築家と地域連携 西田司・伊藤彩良 / 1000年に1度の災害を経て南三陸が選んだ、これから 安藤仁美・浅野拓也

『地域創造科目』の概要

全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

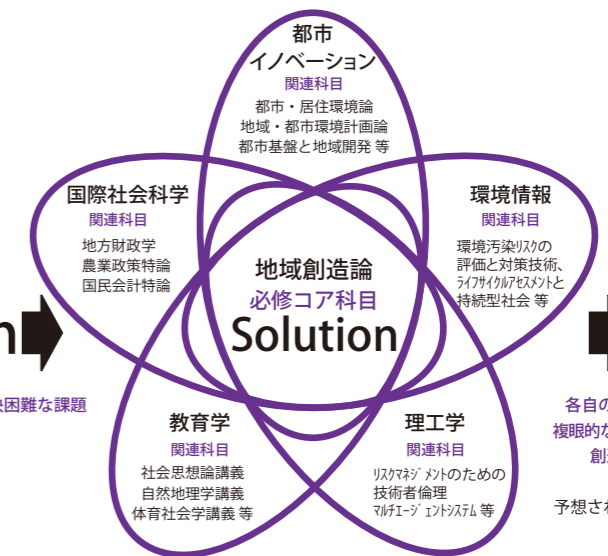
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

*副専攻プログラムとは：

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

*About minor programs:

Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



Problem

地域における複雑で解決困難な課題

Solution

各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながら、学際的に課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できる力をつける。

Vision

各自の専門性を活かしながら、複眼的な視野で地域のビジョンを創造できる力をつける。

- 予想される将来の進路・人材像
- ・国内外 行政関係
 - ・コンサルタント
 - ・建築家
 - ・まちづくり、NPO
 - ・地域プロデューサー
 - ・研究者、教員
 - ・会社経営者



問合せ・連絡先：
地域実践教育研究センター
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
横浜国立大学 経済学部1号館 406号室
TEL&FAX : 045-339-3579
chiki-ct@ynu.ac.jp
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>



複雑で解決困難な地域課題を題材に

各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

「履修申請の流れ」

「オリエンテーション」4月16日（火）昼休み

地域創造科目の説明・相談を行います。
履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。

場所：建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室

「履修登録」

- 必修コア科目「地域創造論」
- 関連科目（各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*注）

*注：関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。（ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。（履修案内等で確認してください。）

「地域創造科目 参画登録申請書」

申請書×切：4月10~19日 or 10月7~21日

☆副専攻プログラムとして受講し、修了証を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請書」は下記の地域実践センターのHPからダウンロードして下さい。オリエンテーションの際にも配布は致します。
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>

提出先：地域実践教育研究センター（経済学部1号館 406室）
あるいは chiki-ct@ynu.ac.jpへ提出して下さい。

「地域創造科目」8単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請書」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行なわれます。

修了要件：①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。

必修コア科目	+	関連科目	→	修了証
地域創造論 1科目2単位 *重複不可		専門型関連科目 2科目4単位以上		副専攻プログラム 地域創造
		実践型関連科目 1科目2単位以上		

・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます。ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません。

★都市イノベーション学府の学生：修了必要単位 30単位+2単位（地域創造論）=計32単位の取得が必要です。

☆都市イノベーション学府以外の学生：各学府・研究科の修了必要単位の中に地域創造論2単位を含めてください。

「修了証」

・副専攻の修了証は「参画登録申請書」を申請した方を対象に、修了証が発行されます。

- 必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。
- 短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに副専攻事務局にお知らせください。
- 副専攻の修了証は修了式に授与されます。
- 成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム（地域創造）修了」と記載されます。
- 実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、レポートの提出が必要です。

レポートの提出 ×切：8/26（9月修了の場合）
2/18（3月修了の場合）

*提出先：地域実践センター（chiki-ct@ynu.ac.jp）

コア科目「地域創造論」

* 秋学期に開講

1. 授業の目的

複雑で解決困難な地域課題を創造的に解決する方法を開拓する。

地域創造学を既往の学問領域の中で位置づけたうえ、本講義の構成・内容、およびグループワークの方法等につき解説する。これを受けて、各専門領域から現代の地域課題をどうとらえているか、また、その解決に向けたアプローチや考え方はいかなるものか等につき、事例や先進的試み等を織り交ぜながら講義する。その後、専門の違う者同士でグループを組み、与えられた地域課題をめぐって現地スタディー、データ分析、ディスカッション等を行う。成果は最終回に発表し、総合討議を行なう。

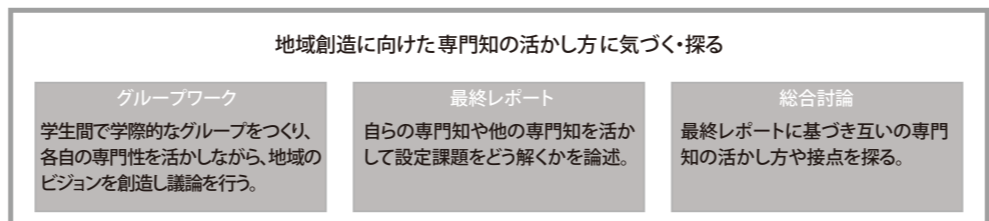
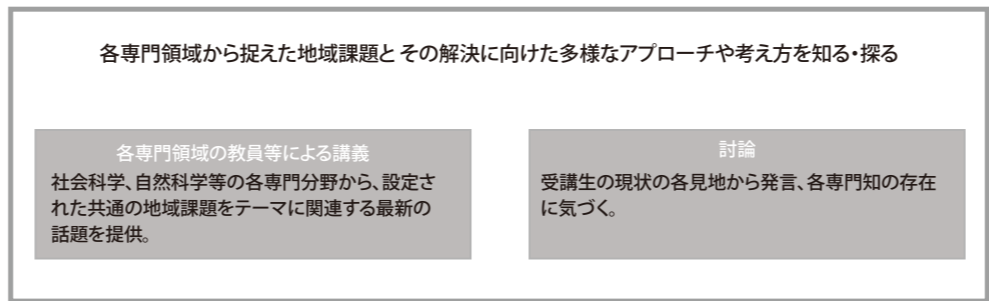
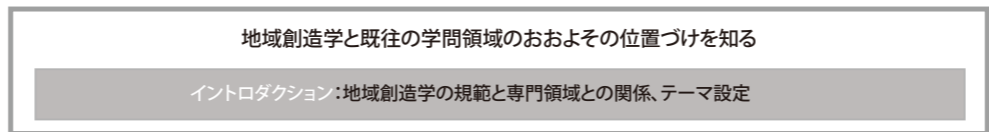
2. 到達目標

1. 自らの専門知をもとに理解したことを説明できる。
2. 他の専門知をもとに語られたことを一定程度理解しそれを表現できる。
3. 地域課題を発見し解決するグループワークに参加し与えられたパートに貢献できる。

3. 特長

- ・副専攻プログラム(地域創造)の要となる専門領域を広くカバー。
- ・広い視野で課題を把握する能力を獲得するため、毎年特定テーマを設定。
- ・学際的環境の中で自らの専門性を伸ばせるよう、異なる専門領域との討論を重視。
- ・その一方、最終レポートでは自らの専門を柱に課題解決策を提起。
- ・学外のゲストスピーカーが要所で登壇しハイブリッドな授業を展開。

4. 授業の構成



講義の様子



グループワークの様子

※これまでの講義内容やグループワークの様子は「地域創造論」のブログで紹介されています。

<http://chiikisoza.blogspot.jp> 検索 **地域創造論**



「地域創造科目」一覧

・カテゴリ：必=必修科目 / 専=専門型関連科目 / 実=実践型関連科目

・提供形態：①すべての大学院学生が履修可能な授業科目 / ②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目 / ③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

部局	科目名	教員名	カテゴリ	単位数	提供形態	備考
大学院全学教育科目（大学院共通）	地域創造論	高見沢・佐土原	必	2	①	都市イノベーション学府の学生は学府の履修案内記載の時間割コードで履修登録すること
	統合的海洋管理学Ⅰ	村井・中村ほか	専	2	①	
	統合的海洋管理学Ⅱ	村井・中村ほか	専	2	①	
	沿岸域管理の法制度	加々美	専	2	①	
	海洋政策と法制特論	中原	専	2	①	
	リスクベースによる規則制定手法	吉田・川村ほか	専	2	①	※2
	海洋産業特論	高品	専	2	①	※2
	イノベーションと課題発見Ⅰ	為近ほか	専	2	①	※2
	イノベーションと課題発見Ⅱ	為近ほか	専	2	②	イノベーション課題発見Ⅰの履修者のみ履修可/※2
	イノベーションと課題発見Ⅲ(インターシッフ)	為近ほか	実	2	②	イノベーション課題発見Ⅱの履修者のみ履修可/※2
	神奈川県を取り組む技術課題	為近	専	2	②	理系の素養があることを前提
	リスクマネジメントと社会技術	竹花・佐野ほか	専	2	①	
	リスク社会とコミュニケーション	熊崎・中山	専	2	①	
	教育学研究科	人文地理学講義Ⅰ	池口	専	2	①
人文地理学講義Ⅱ		池口	専	2	①	
人文地理学演習Ⅰ		池口	実	2	①	
人文地理学演習Ⅱ		池口	実	2	①	
地理学野外実習Ⅰ		吉田	実	2	②	学部or大学院において地理学に関する講義を履修済みのこと。
地理学野外実習Ⅱ		池田	実	2	②	学部or大学院において地理学に関する講義を履修済みのこと。
社会科・公民科教授法講義		重松	専	2	①	
社会科・公民科教授法演習		重松	実	2	①	
社会科・公民科カリキュラム論講義		重松	専	2	①	
社会科・公民科カリキュラム論演習		重松	実	2	①	
社会思想論講義Ⅰ		山本(泰)	専	2	①	
社会思想論講義Ⅱ		山本(泰)	専	2	①	
体育社会学講義Ⅰ		海老原	専	2	①	
体育社会学講義Ⅱ		海老原	専	2	①	
国際社会科学府	国際環境経済	氏川	専	2	①	
	地方財政学	伊集	専	2	①	
	農業政策特論	池島	専	2	①	
	行政学研究	小池	専	2	①	
	基本社会保障法研究	関	専	2	①	
	社会保障法研究Ⅰ	関	専	2	①	
	倒産・執行法研究Ⅰ	西川	専	2	①	
	民事法研究Ⅴ	西川	専	2	①	
	社会福祉政策特論	相馬	専	2	①	
	地域経済政策特論	居城	専	2	①	
	生態会計特論	大森	専	2	③	
	オペレーション・マネジメント特論	松井	専	2	③	
	開発協力論研究Ⅲ	小林	専	2	①	隔年開講のためH31年度は開講無し
	演習Ⅰa(対象は特定教員の6クラス)	各教員	実	2	③	学府の許可する学生のみ受講可能とする
演習Ⅰb(対象は特定教員の2クラス)	各教員	実	2	③	学府の許可する学生のみ受講可能とする	
理工学府	リスクマネジメントのための技術者倫理	高田ほか	専	2	①	
	知能ロボットエージェント	前田	専	2	①	
	リスク分析論	陶山・鎌田	専	2	①	
環境情報学府	エネルギーバリューチェーンシステム概論	妻倉	専	2	①	
	生態リスクと社会的合意	松田	専	1	①	
	環境法Ⅰ	及川	専	1	①	
	地域発展政策Ⅰ	遠藤	専	1	①	
	地域発展政策Ⅱ	遠藤	専	1	①	
	ユネスコエコパークや関連制度を活用した環境共生型地域の創出	酒井	専	1	①	
	ライフサイクルアセスメントⅠ	本藤	専	1	①	
	ライフサイクルアセスメントⅡ	本藤	専	1	①	
	環境イノベーション論Ⅰ	鳴海	専	1	①	
	環境イノベーション論Ⅱ	鳴海	専	1	①	
	社会老年学Ⅰ	安藤	専	1	①	
	社会老年学Ⅱ	安藤	専	1	①	
	外来生物問題を解決するモデルと社会	小池	専	1	①	
	都市イノベーション学府	都市居住環境論	中村・野原	専	2	①
持続型集住計画論		藤岡	専	2	①	
越境社会と地域		長谷川(健)	専	2	①	
地域・都市環境管理論		佐土原	専	2	①	
グリーンビルディング・コミュニティ計画論		佐土原ほか	専	2	③	
途上地域発展論		佐藤	専	2	①	
地域計画論		松行	専	2	①	
都市基盤政策論		中村(文)	専	2	①	
環境都市デザインスタジオ		野原ほか	実	2	③	
建築理論スタジオ		大野ほか	実	2	③	
都市基盤環境創造スタジオ	中村(由)ほか	実	2	③		
都市基盤スタジオ	中村(由)	実	2	③		
その他	独自に参画する実践生の高い活動		実	(2)	①	※1

※1：独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラム上のみ独自認定（2単位相当）する。ただし、正規単位ではない。

※2：理工学府の学生は学府の履修案内記載の時間割コードで履修登録すること。